



大学が夏休みに入った途端、
祖父の持つマンションの手伝いを
命じられてしまった俺・江戸川章。

あゝ、
だつりゝ……
はあゝ

仕事の内容は、マンション内にある
住人専用プールの管理だった。

ばちゃっ

どうせ人も来ないだろうと受付で
机に突っ伏していたのだが――。

たぶん

どうしたの？
……ってゆーか、
寝ちゃってる？

大丈夫ですか？
あの、体調が悪いん
だったら……

ふん

……はひ？



声に反応して慌てて頭を上げると、
目の前にはすごいモノがあった！！

ふふ

うおおおおおおっ！？

キミ、今日から来た
プール管理の人よね、
あははっ♪

……あの、本当に
大丈夫ですか？

すみません、
大丈夫です！

っっ

俺はっ、江戸川章っ、
今日から1ヶ月、プールの
管理をっ……





私は木山梨香です、
よろしくお願いします

はいっ、よろしく
お願いいたします！

へえ、そうなの、
あたしは南野蘭子、
くすっ……

ふふ

さてと、そろそろ
始めましょうか、しっかり
ほぐしとかなないとね

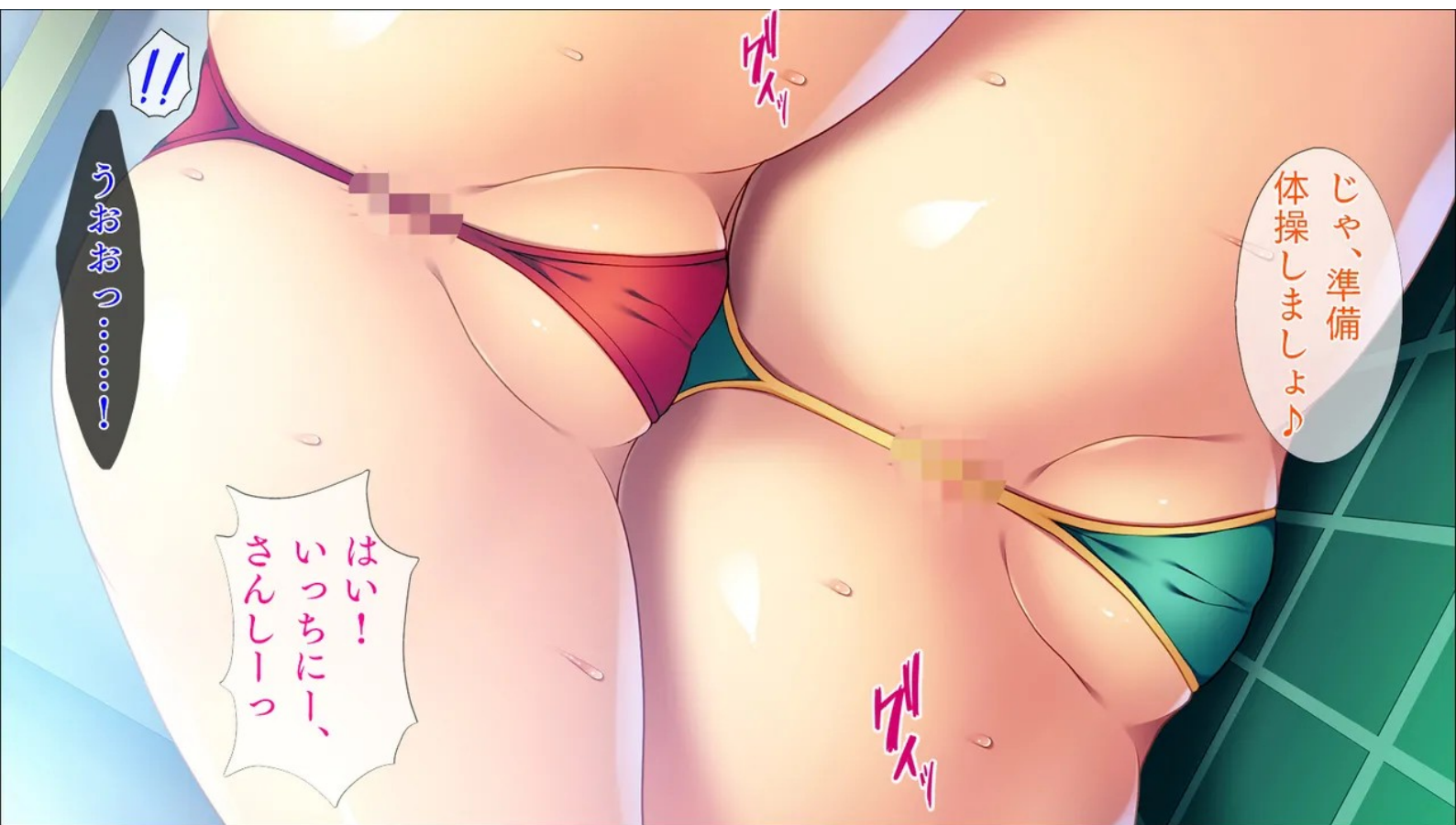
おい=

おい=

ええ……それじゃあ、
今日もお願いします

受付を済ませた二人は、
準備体操を始め――。





じゃ、準備
体操しましょ♪

!!
うおおっ……!!

はい！
いっちにー、
さんしーっ

ゲッ

ゲッ

はい、息を吐いて、
そのままゆっくり〜
ふう、はぁあんっ♡

はぁ

はぁ

ハッ

はい……
はぁ、あんっ♡

んっ…

ただのストレッチなのに、
いちいち吐息が艶っぽい。

ああ、最高の
眺めだ……

あは

んっ

しゅっ
しゅっ

しゅっ

俺は目の前のモノを
じっくりと観察しつつ、
バレないよう勃起ペニスを
シコっていた……。

蘭子さんとの初エッチ♡

数日後――。



31317

ちよつといいかしら？
相談があるのよねえ……

今日は蘭子さん一人だけが
プールに来ていた。

二人の都合が合わなくなったそうで、しばらくは別々に利用するらしい。



なんでしようかつ!?
俺でよければ……

突然の相談に、
鼻の下を伸ばしながら
大声で了承する俺。

じゃあ、こっちに
来てちょうだいな？

こっちで、聞いて
欲しいの……

もじ

もじ

はい……！

俺は、操られるかのように
彼女と一緒にプールに入った――。

あらあ、やっぱり立派ねえ♪
旦那のより大きいわあ……

おお

びん

くは

くは

ちよ、蘭子さん!?

いきなり下腹に
おっぱいを押しつけられ、
ペニスを取り出される。

あなた、この前
あたしたちを見て
シコってたでしょ？

あは

おは

ぜんぶ……
聞こえてたわよ♪

大慌ての俺に、蘭子さんは
色気たっぷりな笑み。

ふふふ、
久しぶりだわあ、
こういうの……♪

若いコの勃起ブツなんて、
くすっ、いつぶりかしらあ

んっ…

えん

あんっ



に

すみません、
オナってて

いいじゃない、
恥ずかしがること
なんてないわ

あたし、最初から
誘ってたしね♪

ばちゃ
ばちゃ

ニコ

ニコ

ニコ

3131

何言って……
おおっ……!!

いきなり蘭子さんが手コキを始めた。



びしょ

蘭子お姉さんはねえ、
キミみたいな若い男の子が
大好きなの♪

んっ…

びしょ

びしょ
びしょ…

ぽちゃっ

ぽちゃっ

エッチなイタズラしたく
なっちゃうのよねえ……

ううつ……

あら、もっと大きくなってきた
やっぱり、若いっていいわあ♪

んっ…

ばちゃっ

ムコ

ムコ

びんっ

ムコ

おあ

ほら、人妻お姉さんが、
スツキリさせてあげる♪

俺が快楽にうっとりしかけている間に、
さらに次のコトが起こっていく。



んちゅ、ぴちやつ、
んちゅばっ……♡

ふふ、ガツチガチね、
ちゅ、んちゅばあッ

しゅっ
しゅっ

ちゅば

ぽ

れろ
れろ

ぎゅ

くちゅ

く

んっ

んっ



いいわあ、いいつ、
この感じ……♪

熱くて苦くて、
青臭いの……

うわっ……
そんなことされたら、
出ちやいます……

ちゅぽ

れろ
ろろ

しゅっ

れろ
しゅっ

ぎゅっ

んっ



擦っただけでも
いきそうだったものね♪

先走り、すごいわ、
苦くてねばねば……
美味しい……♪

ああっ、美味しいわあ、
こういうのは定期的に
摂らないとほお……♪

ほら、出しているのよ、
出さないっ……！

マジで食われるっ、
待ってっ、ああっ！

ぷいっ

れろっ

にゅ

じゅっ

じゅっ

しゅっ

しゅっ

ぎゅ

しゅっ

んっ

んっ

んっ

っ…!!





ああん

あああん♪
いいわ、いいつ、
すごい量ね！

さすが、若いコは
いいわあ、あんつ、
どろどろ、濃いい



おおっ

んう、生臭い……
ほんとに濃厚ね、ねばねば
糸を引いて、欲望まみれ

びちゃっ

ドロッ

びちゃっ

くすっ♪
溜まってたのねえ、
ふふふっ……



ふう……
まだまだ元気そうね、
章ちゃん？

もっともっと、
気持ちよくなりたい
わよねえ？

ぬちゃ……

とろ……

とろ……

とろ……

はあ

はあ、はあっ
えっ……？

はあ

顔中に精液を付着させたまま、
いやらしくにやりと笑う蘭子さん。

ほら、今度は、一緒に
気持ちよくなりましょうか？

俺は彼女に導かれるまま、
プールから上がり――。





ふふ、ほら、
もう入ってる

これだけガッチガチなら、
当然すぐに突き刺さって
くるわよねえ……♪

ひひっ

おい

んっ…

気がつけば、
ねっとり絡みつくような
膣肉に呑み込まれていた。





ええっ……
うああっ！

はっ

はい、このまま
じっとしててね？

んっ…

ああ、久しぶりの
若い男の子とのセックスう、
ふふ、最高お……♪

はっ

おっ
おっ
おっ

硬いわ、太くて長くなって、
子宮までこじつてくる感じ……
すごいわあ、キシ……♪

もっと、欲しいっ……
こんなゆっくりの動きじゃ
物足りないわあ……♪







ああっ、ズコズコゴリゴリ、
えぐられちゃいそう♪

いやらしい穴、
ほじくり返され
てるわあ……

あッ

ぐわっ
ぐわっ

はっ

ぐっ

ぐわっ
ぐわっ

ぐわっ

ぐわっ
ぐわっ

ぐわっ
ぐわっ

ぐわっ



はうう、食われるっ！
持ってかれるっ……！！

はっ

ああああん♪

若い男の子のっ、
元気なモノ、
ちようだい！

あ、あ、あ

あ、あ、あ

あ、あ、あ

あ、あ、あ

あ、

んっ

もっと欲しいっ、
全部あたしのよおお♡



ねえ、
章ちゃん……
出して？

お願い、あたしの中に、
蘭子お姉さんの中に、
思いつきぶちまけてえ♪

はっ

あっ

いっ



ほら、いいわよ、
このまま中に出して？

そんな、中につ、
ぐふっ……！！

どぶどぶたっぷり、
濃厚なの出して欲しいわ♪

おしゃ

おしゃ

おしゃ

ぐふっ
ぐふっ
ぐふっ

はあっ、出して、
思いっきり出して！

ほら、出し惜しみなんて
許さないわよ、出しなさい！
思いっきり、出してええ！！

はっ

おっ
おっ
おっ

あっ

おっ
おっ

おっ
おっ

おっ
おっ

んっ

ああ、出る、出ますっ、
すみませんっ……！！





あはああ……すごい、
気持ち、いいっ……

いくわあ、久しぶりの
中出しっ、最高よ!!

んはあ



ふふ、感じ入っ
ちやってるの？
可愛いわねえ、
学生くんは♪

うはっ……
んはああっ！

いいわあ、貪欲なくせに
純情で……章ちゃん♪

んうう

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん

やがて射精が終わり、俺たちは深々と
繋がりが合ったまま息を整えていた。

これが……
セックス

くすくす、章ちゃんも、
気持ちよさそうね？

どうだったかしら、
知り合って間もない人妻に
筆おろしされちゃって……



ねえ、章ちゃん、
このことは、お祖父ちゃん
には内緒よ？

あーっ

あーっ

あーっ

んっ

あーっ

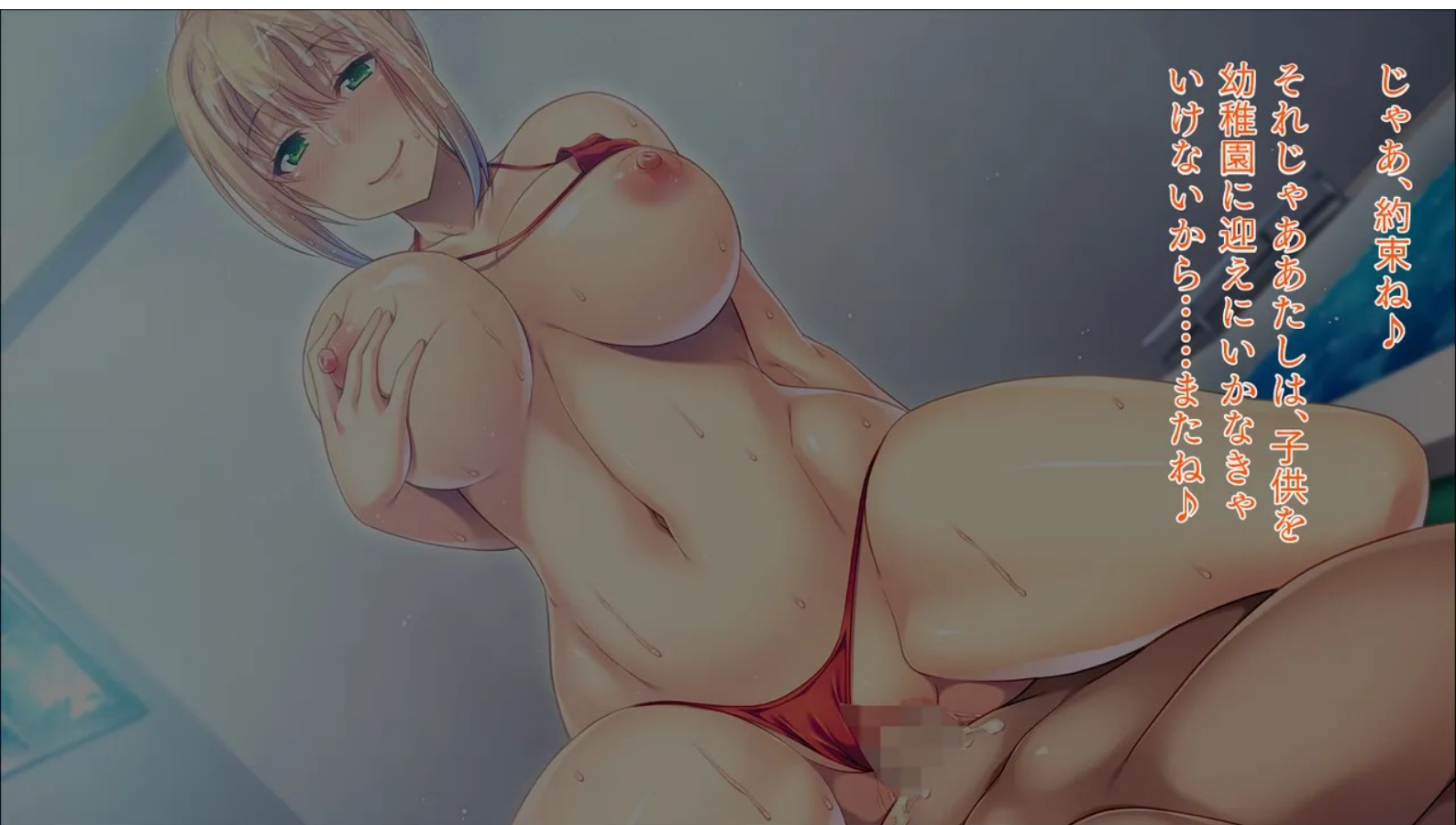
ちやあんと秘密にして
いられたら、また気持ちいい
ことしてあげる……♪

ぬゅっ



じゃあ、約束ね♪

それじゃあたしは、子供を
幼稚園に迎えにいかなきゃ
いけないから……またね♪



蘭子さんのパイズリレッスン♡

再び蘭子さんが一人で来てー。

ふふ、やっぱりガチガチね♪
そんなに期待してたのお？

ふふっ

そりやそうっすよ！
当たり前じゃないですか

でも、だあめ♡
させてあげない

ばちゃ

ばちゃ



セックス覚えてたのキミじゃ、
あたしが満足できないでしょう？

ええっ!?!
そんな……

ふふ

安心して?
代わりに、こっちで
練習させてあげるわよ♪

すると蘭子さんは、俺の肉棒を掴み――。

ばちゃ

むにゃ

あはあん……♪
ほら、気持ちいいでしょ、
もっとしてあげる

んっ…

弾力溢れる大きなおっぱいで包み込んだ。



こうやって、
パイズリで……

おい

むにゅ

ぽるん

腰の動かし方、
しっかり覚えなさいね♪

ぐっ、すげっ、
ああっ……!!

はっ

いっ

あ



うふふ、
相当気持ちいい
みたいね？

おにゅ

おにゅ

くっ

ぷるん

我慢汁も溢れて
きちゃってる……

そりや、こんなこと
されれば……ぐぐっ！

あら、もう出そう
なんじゃないの？

出しなさい！
思いつきブシブシユ
出して、あたしに
よこしなさい♪

おにゅ
おにゅ



思いつきり、
出さない！

ぐっ、出る、
出るうううっ！

空っぽになるまで、
お姉さんに……
よこしなさいな♡

むにゅ

くに

おに

くさくさ





出して、ほら、ザーメン、
たくさん出してちょうだい！

ドクドク出してえ、
はあん……♪

セクッ
セクッ
セクッ

セクッ
セクッ
セクッ

ぐゅ
ぐゅ
ぐゅ



うおおっ……!?

ほらほら、
まだ終わりじゃ
ないでしょ？

むにゅ

ぬちゃ...

ぐわ

ニゅちゅ

トロォッ

ぐん...

おい=

あっ

腰振り腰振り、
ほらっ、続けなさい♪

はっ

まだまだよこせと責め立てて、
搾り上げる。

あはっ、ほらあ、
もう、お汁がにじんで
きてるわよ！

連続なのにすごいわねえ、
ほおらほらっ、もっともっと
出さない……んんっ！





あああん♪
来るわ、ほら、
動いてる！

うあっ、出る、
出るうううっ！

根元からビクビク揺れてわよ、
出さない、章ちゃん……！！

むにゃ

ぷるん

ぬちゃ

ぬちゃ

ぬちゃ

ぬちゃ

ぷるん

ぷるん

ぷるん

あゝ

はっ

あ



全部搾り
取られる！

ペニスがぎゅうぎゅう搾られ、
思わず目が回った。





はあ、
いいわあ、
若いコ♪

んっ...

あぁっ

ッポッ

ッポッ

ぬちゃっ

ぐっ...

若いとギンギン
ビンビンね♥

あぁっ

ザーメンもこんなに濃くてどろどろで、
ふふふ、とっても好み……♪

私とセックスしたかったら、
もっとこういうことに慣れないとね♪



プールサイドで背面座位♡

何度かの特訓を経て、ようやく
蘭子さんから本番のお許しが出た。

ズッ…

ぐちゃ

おい=

んっ…

ふふっ、章ちゃん、
そんなに蘭子お姉さんと
セックスしたかったの？





だってもう……
我慢できなくて

はあ

ちゅわ

ズッ

ちゅわ

くすっ、
いいわ

ちゅわ

んっ…

さすがね……
ギンギンじゃない



ううっ、気持ち
いいです……!!

はっ

でも、気持ちよくても、
すぐにイっちゃダメよ?

ん

むにゅ

あ

フフ

あたしのことも、
満足させてよね?

すると、蘭子さんは俺の返事も
待たずに腰を使い始めた。

やっぱりいいわあ、
突き刺さってくるう♪

ふふふ……
ほら、このまま、
愉しみましょう？





はひっ……
うぐぐつ！

ほら、章ちゃんも
しっかり動いて！

気持ちいいんでしょ？
もっともっと気持ちよくな
りましょ、ほら……♪

射精をこらえるだけで精一杯なのに、
蘭子さんはガンガン動く。





いいわ、いいつ、
その調子よ、章ちゃん！

そのまま……
ぐいぐい来てえ♪



お姉さん……
イきそおお♪

あん！ いいわ♪
章ちゃんの腰振り



出して！
あたしの中に、
思いつきり♪

蘭子さん……
そろそろ……

精液、あたしの
膣内にちようだい！

あー
おにゅ
おけい

おにゅ
おけい

あー
おにゅ
おけい

あー
おにゅ
おけい

あー
おにゅ
おけい

あー
おにゅ
おけい

あー



ぐっ、出るっ!!

んんん!!

ぽろぽろぽろ
ぽろぽろぽろ
ぽろぽろぽろ



いいっ、
いいわあ！

どろどろっ、
流し込まれて、
イクううう！

ゴゴッ

ゼリッ
ゼリッ
ゼリッ

ゴゴッ

ゴゴッ！



いくわ、全部、
いつちやうつ……

びくっ

びくっ
びくっ

びくっ

びくっ……

びくっ

あゝあゝ!!



わーっ

ぐんぐん...

ぬちゅ...

ミョウ...

ぬちゅ...

わっ

んっ...

わっ

わっ

ふふふ.....
上手にできたわね♪



ふふ、章ちゃん、すごい上手だねっ！

お姉さん、負けちゃいそうよ……



競泳水着で水中セックス♥

今日は珍しく、
一般客もプールを利用していた。

あは

やっほ、章ちゃん

蘭子さん、こんにちは……
って、え、その水着……





はいっ……
もちろん好きです

どうかしら、
男の子ってこういうのも
好きでしょう？

いっ
いっ

いっ
いっ

おっ
おっ

んっ

あゝ

で、せっかくだもの、
今日は、一緒にプールで
運動しましょ？

競泳水着記念よ♪

もちろん、
それは普通の運動のはずもなく――。





ちよ、これって……
さすがにつ、ううつ

ばちゃ

ん

ばちゃ

ん

ん

ん

プールに入った瞬間、
蘭子さんが抱きついてきて
挿入させられる。



大丈夫……
見えてないわ

ばちゃっ

むいーや

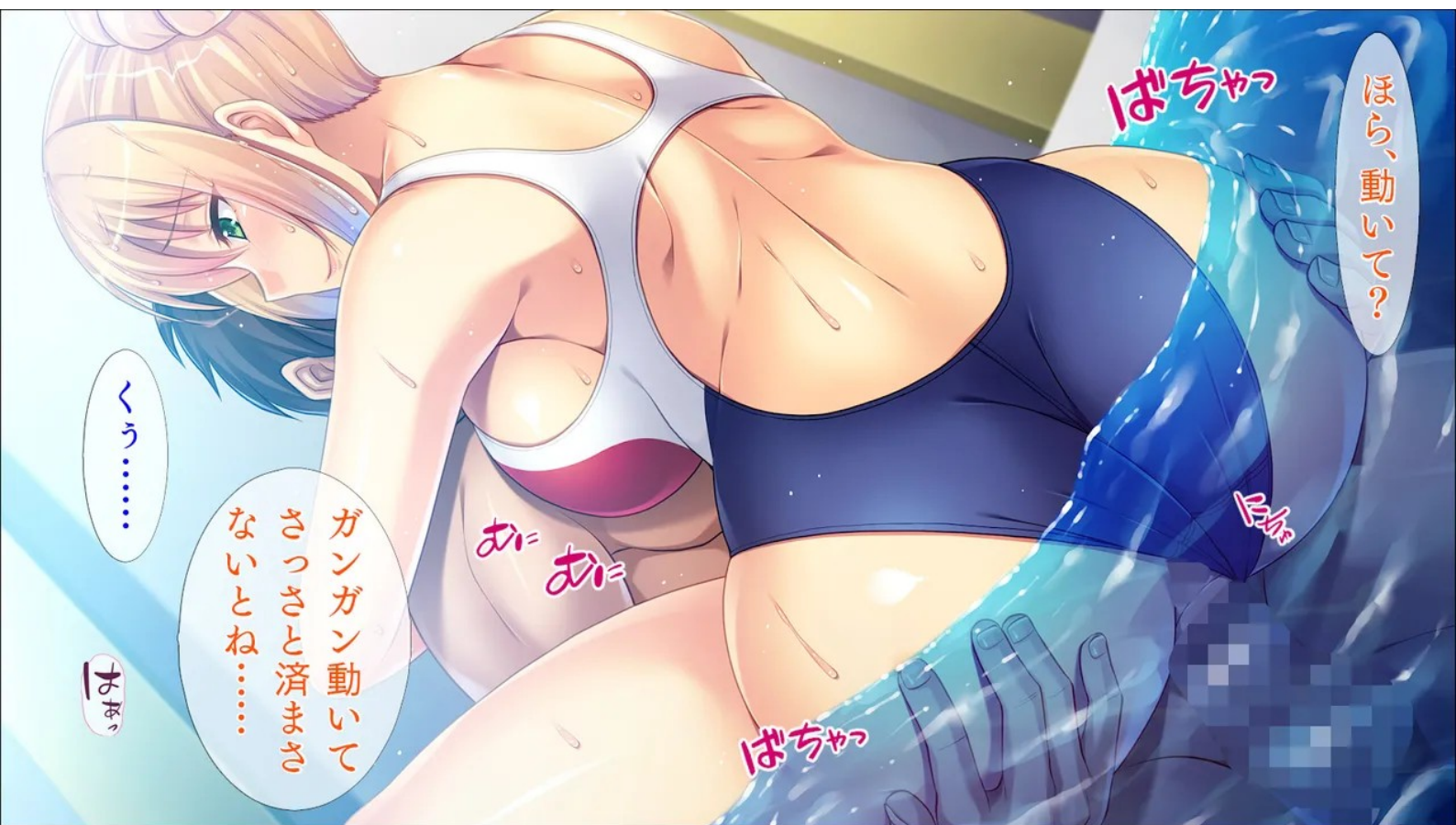
ばちゃっ

ばちゃっ

ばちゃっ

んっ

でも……



ほら、動いて？

ばちゃっ

ぽん

ばちゃっ

おい
おい

ガンガン動いて
さっさと済ま
ないとね……

くう……

おん

俺は蘭子さんに導かれるようにして、
水の中でゆっくりと腰を振り始める。

ばちゃっ
ばちゃっ

ああ……
いいわあ♪

あ

ぬるっ
ぬるっ

ぬるっ
ぬるっ

ばちゃっ

ん

ぎゅ

しっかり奥まで
突き刺さって、ズンズン
力強く来てる感じ……

は



ほら、もつと動いて
ちようだい……

ばちゅ

ばちゅ

ぬる

ぬる

ぬる

ばちゅ

ばちゅ

ぬる

あ

こんな風に……

え……？

ん

蘭子さんが、自らも水をかき分けるようにして腰を揺らし始めた。

ばちゃっ

ちや

ばちゃっ ばちゃっ

あ

ま

ああん……♪
気持ちいいっ

でも、叫べ
ないわよね、
くすつ……

あ

もし見つかったら、
あたしたちどうなるの
かしらあ、ふううっ

あッ ばちゃっ

ばちゃっ

おッ
おッ

おッ
おッ

おッ
おッ

ばちゃっ

ばちゃっ

おッ
おッ

あッ

あッ

破滅ですよ！
プール管理人と人妻が、
こんなこと……！



だが、スリルと緊張感のせいで
興奮はますますばかりで――。

ばちゃっ

おちゃ

おちゃ

おちゃ

ばちゃっ
ばちゃ

俺……
もう！

あ

ぎゃ

あ

たくさん出して！！
二人でイきましょうっ♪

ううつ、
出る！！

あ









気持ちいいっ、
いいわあ.....!

さすが、章ちゃん、
すごいっ...♥

びく

びくっ...

びくっ

ばちゃ

どろろ

ばちゃ

どろろ

びく



はあ、はあ……
大声出したいわ

びくっ…

はあ

くすつ、
ダメよね……
管理人さん？

ダメですよ……
はあ、はあっ……



うふふ、いけない
ことするのって、
燃えるでしょ？

普段以上に
感じちゃうわ♪

はっ

ああっ、あの子たちに見られ
ちゃってるかもっ……っ

こういうのって、クセになっちゃうわよ、
刺激的なんだから、ふふふっ……っ



蘭子さんと朝までセックス♡

夏休みが終わりに近付いたある日、俺は蘭子さんの自宅へ招待された。

いらっしやい、
待ってたわ♪

たろ

お邪魔しますっ……

お腹空いてるんじゃない？
さあ、遠慮なくどうぞ♪



だが用意された食事は、いわゆる
精のつく食べ物ばかりで――。

ごちそうさま、
美味かったです

うっ……!?

ふふ

さ、そろそろいいわね?
それじゃ、お風呂にでも
入りましょ? うふふっ♡

そして、俺たちは
寄り添い歩きながら浴室へと向かった。



ふふっ、ほら、
じっとしてて……

んっ……

このまま、きれいに
洗ってあげるから

ばっ

!!

これって、ソコを
洗ってもらってる
ってゆーか……

おい



全身を洗って
あげるんだから、
いいでしょ？

そういえば、
今日、お子さんは？

おに
く

く

ん

実家に預けてきてるわ
あの子がいたら、あたし、
母親になっちゃうもの

今の私はただの女
……セックスしたくて
仕方ない一人の女よ♪

蘭子さんの手に力がこもる。
俺も思わず、彼女の割れ目へ指を――。



あああん♪
気持ちいい

そのままズブズブ
入れて……

俺も気持ちいい
ですよ、蘭子さん

はっ

びっ

ぐちゃ

しゅ

はっ

しゅ

はっ

クリトリス、
いいわあ……

ヒダヒダまで
感じちゃう、中まで
指入れてえ……？

夏休み前までは童貞だった俺も、
度重なる行為ですっかり手慣れていた。





はんっ、いいわ、
いいっ、もっとお

あたしも、もっとして
あげるからっ……♪

ほっ

んっ

あっ

にゅっ
にゅっ
にゅっ
にゅっ

にゅっ
にゅっ
にゅっ

にゅっ



ほら、もっろ……
きぼちよく……
なっへえっ！



ううつ、俺も、
負けませんよっ！

蘭子さん、先に
イかせてあげます！





指が突き刺さって、
かき混ぜられてるっ、
熱い……

あん♪

あッ

あッ

しゅっ
しゅっ
しゅっ

ぐり
ぐり

しゅっ
しゅっ
しゅっ

ううっ……
負けないっ

んっ



あはああ……
章ちゃん、すごほおい、
元気すぎひい……♪

もう、あらひ……
いつちやいそおよお

いってください！
俺も出るんでっ、一緒に、
いきましよう……！







おあおあ

ぐんぐん

グン

グングン

ぐんぐん

潮っ、噴いちやうっ——！！

しゅいんこり——

グングン

グングン

ぐんぐん……







でもやっぱり、
さすが若いコ

んっ...

ドロ...

あー

あー

ドロ...

どろ

こんなに出したのに、
いつも以上にギンギンよね？
ふふ、楽しめそう.....

どろ

ぐわ

あー

ぬちゃ

ぐじゅ

あー

それじゃ、
次はベッドに
行きませんか？



ええ...
もちろんよ

一緒に行きましょう、
ベッドに、ね...

本番のセックスはこれからだった。



待ちきれなかったのか、ベッドに着くなり
蘭子さんはいきなり襲いかかってきた。

私好みのヤリチン
ペニスに成長したわね♪

生ハメでこんなに激しく
動いてるのに、ちゃんと
我慢できてるじゃないっ



蘭子、さっ……
ダメ、だはああッ！

それっ、それっ、もっと
搾ってしごいてあげる！

もうひと頑張りなさい、
章ちゃん、あはあん……



欲しいの、章ちゃんの
ザーメン、欲しいっ♪

出して、出してえっ♪
たっぷりちょうだい

出るっ、もう、
出まふっふっ！

おにゃおにゃ





ズン

どろどろね、
濃すぎ……っ

これなら、まだまだ
たっぷり出るでしょ

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

射精後も蘭子さんは動きは止まらない。

はあ、はあ、抜かすの
二回戦ってヤツね♪

今日は、枯れるまで
やり続けるわよ！

ぬぶっ

ぬぶっ

ぬぶっ

ぬちゅっ

ぬちゅっ

まゝにゅ

もう、徹底的にセックスするつもりらしい。
すぐさま激しい腰振りが始まった。



ほら、章ちゃん、
遠慮はいらないわよ

ふふ、精液で
滑って気持ちいいわ、
またいつちやうう♪

何度でもイって
ちようだいっ！

ぬるる

ぬるる

ぬるる

ぬちやっ

ぐちゅ

にゅ

たぶん



そのビクビクしてる
硬いモノから、いつぱい
出してええ……♪

ぬふっ

ぬふっ

んっ

ぬふっ

ほら、出しなさい、
たっぷり注ぎ込んで

んっ

ううううっ……!!

にゅっ
にゅっ

ぬちゅっ

おにい

おにい



出されるたび
イっちゃうっ!

はあああん♪
いいわああ!

入れられてる
だけでアクメよ!





どんだん出してっ、
ザーメンちょう
だいいい!!

あぁっ、ウソだろ、
また、出そうに……



ああっ、あたしも、
イっちゃうっ……!!

章ちゃんとなら、
何度でもイけちゃうわ、
いいーっ!!



ズンッ

もっと、ちようだいっ
……もっと、動くわ

章ちゃんも……
もっとしたいでしょ、
ほらあっ!!

ひっ……
ううっ!

のびる

ドク

ズンッ

そうして、何度かの射精を繰り返し――。



はーっ

はあ、はああ……

はーっ

あら……
かなりお疲れね、
少し休憩する？

おっ

ぬちや……

んっ

んっ

はーっ

はーっ

お願いしますう、
ううっ……



はー
でも、さすがは若いわね、
だってまだこんなにギンギン
なんだもの……♪

まだまだ……
もっと出るでしょう？

はは、少し休めば、
まだまだイけます

はー

はー

はー
はー

そうね、小さくなっても
またあたしの中で勃起させて
あげるから……♪

さあ、今夜は限界まで
やるわよおー、おーっ！

やるぞ、
おーっ！

俺たちは、再び腰を振り始めた――。



そして、朝——。

まさか、ほんとに
朝までできるなんてえ

このペニス、
最高お……♪

はっ

いっ

あっ

お互いさすがに疲れはあったが、
まだ繋がりが合っている。



蘭子さんが鍛えて
くれたおかげですよ

あ、
ねえ、いつそうちの
子になりなさい？

ここに一緒に住んで、
毎日、おかしくなるくらい
セックスしてあげるよ





さすがに
それは無理か

そりや無理ですよ、
でも、いいなあ……

じゃあその代わり、今、
思いつき満足させてね？

んっ

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

ぬちゃっ
ぬちゃっ
ぬちゃっ

はっ

あ



あ

はい、頑張ります！

あ

あああん！
すごいじゃない、
章ちゃん！

じゅぽっ

ぬちゃっ

じゅぽっ

ぬちゃっ

じゅぽっ

まだこんな力が
残ってたなんて

あ



あ、
最後の力を
振り絞ります！

あ、
はあつ、さすがに、
若さには勝てないわあ

あ、
じゅぽっ
じゅぽっ

ぬちゃっ
ぬちゃっ
ぐわっ

じゅぽっ
じゅぽっ

でも、負けても
いい気分……♪







ズン
ズン

子宮までっ……
はちきれそうっ！

ズン
ズン……

ズン
ズン
ズン
ズン
ズン

熱くて……
焼けるわあっ！

ズン
ズン



まだ出るっ、
止まらない！

ぐんぐん

やだ、もう、息が
切れちゃって……

ぐん

ぐん

グググ

のびる

ぜえっ、はあっ、
すごい……！

ぐんぐん……

うふうん……
ふふふっ……っ

はーっ

はあ、はあ、
へへへ……

あゝ

ぬちや……

シロオビ

シロオビ

ぐっ

おっ

おっ

一晩中たっぷりと射精し続けた。
おかげでもう、手足にも力が入らない。



はーっ

はあ、はあ……
もう、無理……

はあ

んっ……

はあ

ぬちゃ……

ぐちゃ
ぐちゃ
ぐちゃ

まさか、私の方が
先に参っちゃうなんて、
思わなかったわぁ♡

はあ



こんなすごいペニス、
もう二度と出会えないわね……。

ますます、手放すの
惜しくなっちゃったわあ……。

ねえ、章ちゃん、夏休みが終わっても、
いつでも遊びにきなさいな？
いいでしょ、章ちゃん……。♡

その後――。

あはあ……章ちゃん、
もつと来て、奥まで♪

はっ
相変わらず
すごい締めつけ



夏休みが終わってからも俺は
蘭子さんの家を頻繁に訪ねている。

はっ
もっとなしてっ、
もっとなしてっ、
もっとなしてっ、

はっ
何回でもしたいわ、
何回しても足りない
くらいっ、んんっ





章ちゃん……お願い、
もつと……もつとつ

まだ、したいの、
イかせてえ……

あ、
蘭子さん！

はっ

んっ

蘭子さんのおねだりを合図に
俺のピストンも大きく速くなる。

あはああん！
いいっ、いいわっ、
もう、イきそお！

チュブチュブ
かき混ぜられて、
無理っ……！







嬉しいっ、
幸せっ……

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

一緒に、イって
もう我慢なんて
したくないっ！

おっ
おっ
おっ

おっ

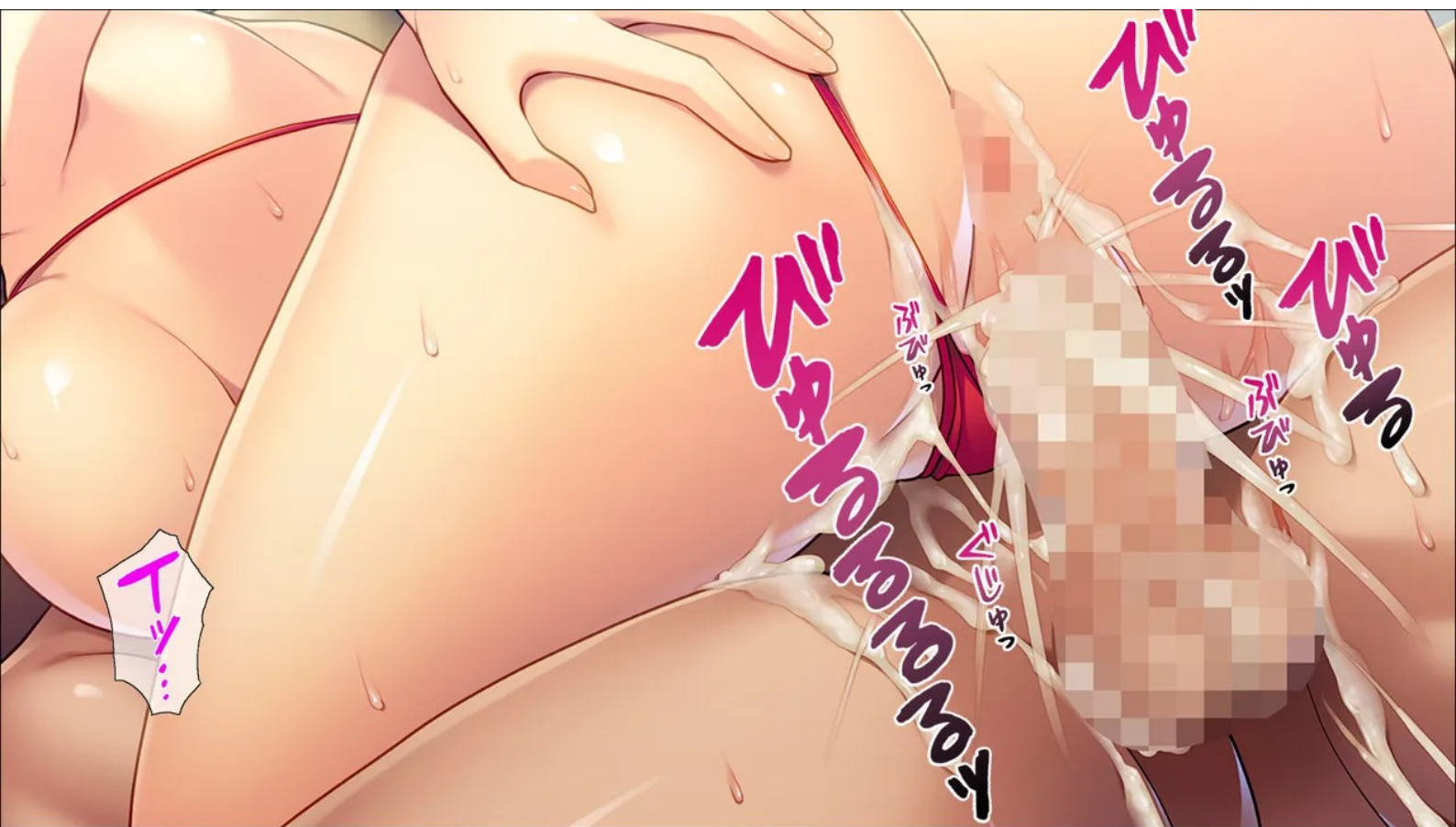
おっ

おっ

おっ

おっ

おっ







ああああ

びくっ

びくっ

びくっ

びくっ

びくっ

びく

びくっ

いいっ、章ちゃんっ♪
いいっ、熱いの、どろどろ
入って来てるの……!!

もっと、欲しい……
何度でも、してえ!



はあ……
ふうう

ぬちゅ……

くろろろ……

ぬちゅ……

ぐん……

くろろろ……

はあ……

はあ……

はあ……

はあつ……
はあつ……

まったくもう……
人妻に5回連続で
中出しなんて……

きっと、そんなの
世界中でキミだけよ？
ほんと、元気ね……

はは……
すみません

んっ……





さてと、そろそろ、あの子を幼稚園に
迎えに行かなくちゃね。

それじゃまたね、あたしの章ちゃん♡

美人人妻との3Pセックス
ホテル編

夏休みが終わった後も、
俺たちの関係は続いている。

あはあん……♪

ああ、んっ……



そして、蘭子さんが誘ったらしく、
いつしか梨香さんも加わるようになった。



ねえ、早くう……

うん

うん

むちっ

私も、もう
我慢できません
焦らさないでえ

うん

ふん

ふん

ふん

ふん

ふん

今日はどっちから
セックスしようか？





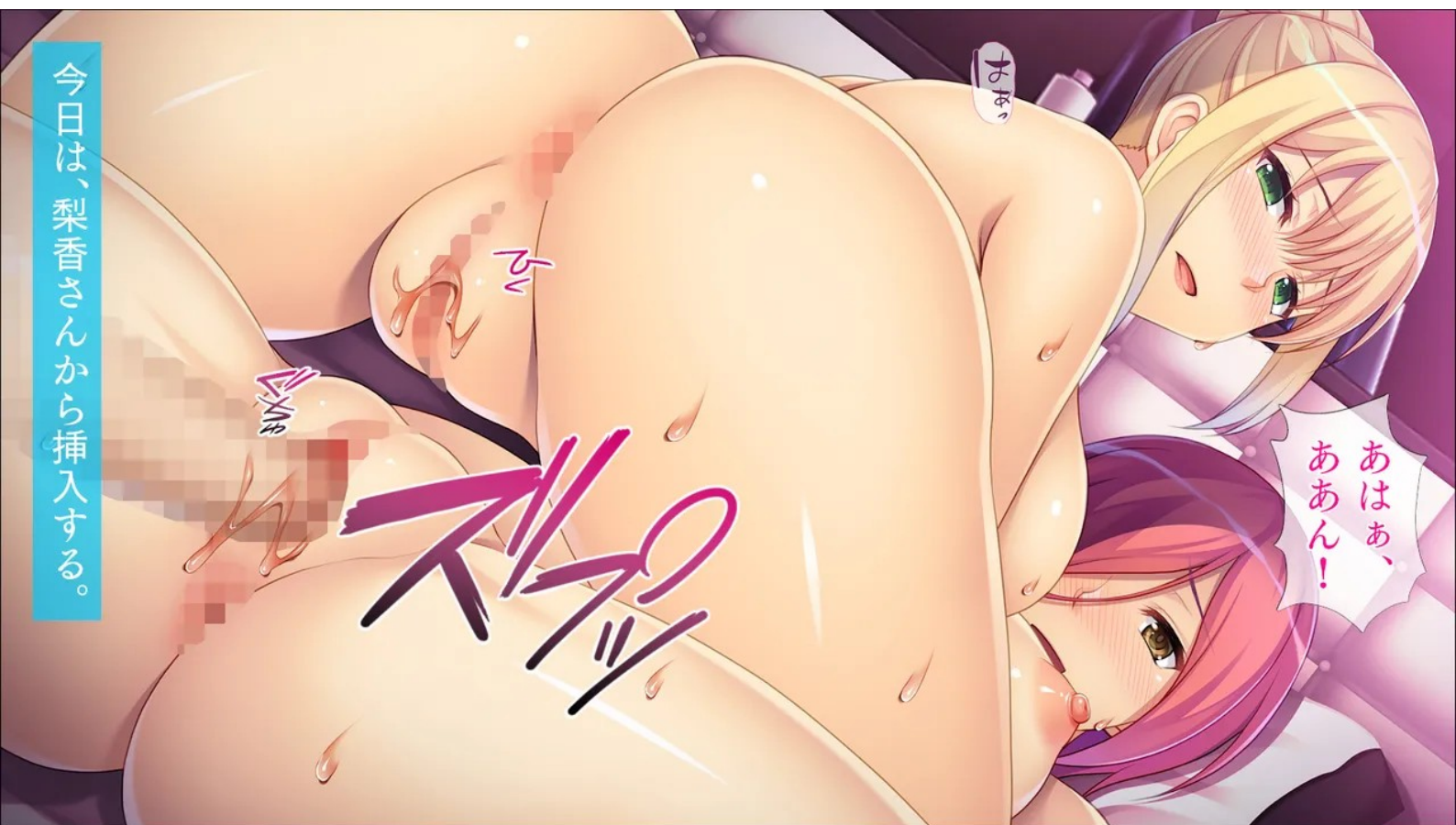
今日は、
私からですよ、
章くんっ♡

ずるいです、
蘭子さん！

そうだなあ、
まずは……

というわけで——。

今日は、梨香さんから挿入する。







蘭子さんから悲鳴が上がったので――。



挿入されて悲鳴は嬌声へと変わる。

いいっ……
いいわああ！

あつ——！！

んっ……



ずるいですよっ……
私にもください！

また入れてえ、
章くんっ……！！

俺の中出し一発目を巡って、
悶えながら主張し合う二人。



俺は彼女たちの願いを同時に
叶えるべく、ペニスの位置を変えた。

ダメですよ？
二人とも、ちゃんと
仲良くしないとね









あたしもイくわあ、
みんなでイきましょう♪

たくさん出してください！
いっぱい、精液くださいっ！

ほら、二人で仲良く、
受け取って……っ！







そりゃ、平等に
ぶっかけですよ！

でも、この二人がこれだけで
満足するわけもなく——。



いい子ね章ちゃんは♪
ちゃあんと、二人平等に
してくれるなんて

ありがとうございます、
でもやっぱり、中出しじゃ
ないと物足りなくて……

うん……

おかし

おかし

うん

うん……

うん

おかし

おかし

ミロロ



やったあ♪
さすがは章ちゃん！

わあ、嬉しい……
うふふふっ……♡

今日も、空っぽになるまで
頑張ることになりそうだ。

～おしまい～